

保育おおさか

平成20年1月1日 第389号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

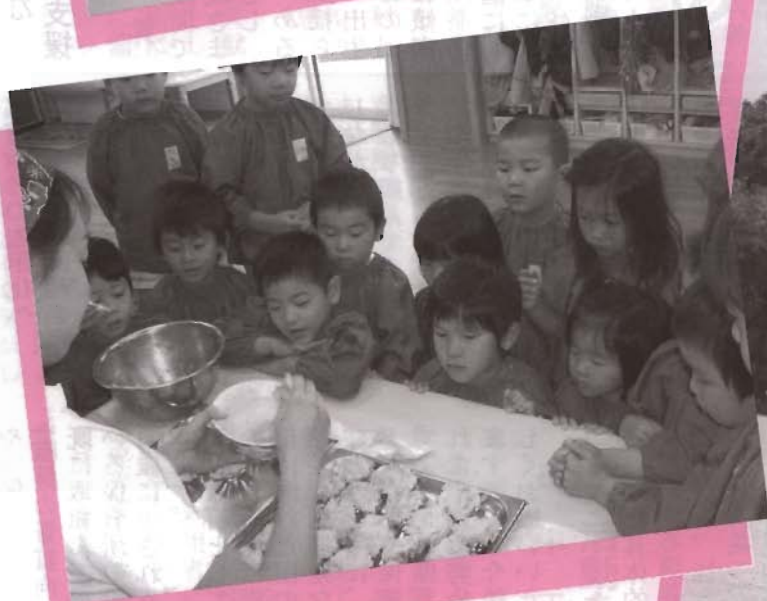
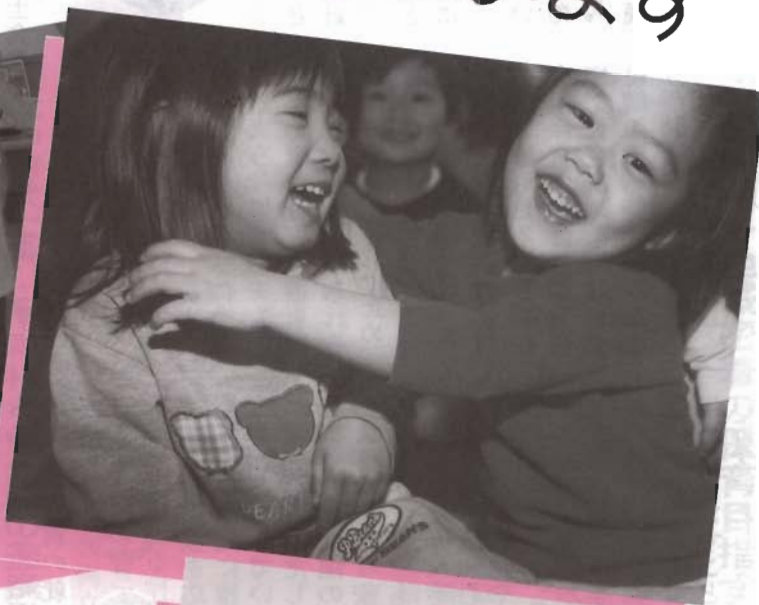
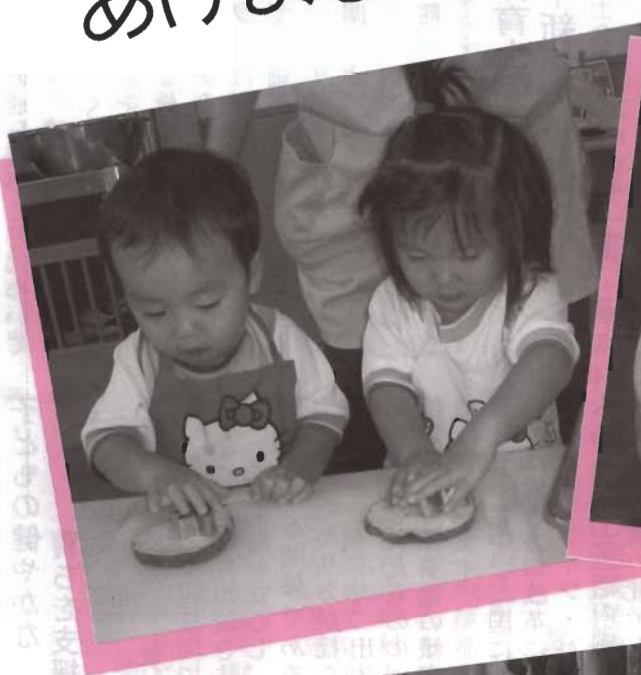
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426



迎春



あけましておめでとうございます



写真：光善寺保育園・摂津ひかり保育園・つばみ保育園（順不同）

力合わせ「大阪の保育は素晴らしい」の評価を

保育部会長 永野 治 男



何が起こっても不思議で無い世の中になったようです。連日報道されている親が子を、子が親を殺める事件に何かが欠落していると思えてなりません。一つ感じるのは、その人の家庭環境や生き方等は、親なり、集団教育の場で教えられて育つものですが、その重要性を改めて考える必要があると思われます。保育園は子どもが人として初めて経験する集団教育の場。私たちは大きな人づくりの責任があると考えます。今年、は、まず

①地域貢献事業の推進については、今年度内に出版した
②保育士不足とその対処、養成校との協議の推進と良き保育士を育てるためにも、実習についての協力

③保育指針改定による、研修事業の推進

④モンスターパーアレンツに対する、部会としての相談窓口の設置

⑤各行政機関との協力関係の再構築

は、当然であるが、筋

「明日」につなぐ保育士の能力アップを —新保育指針に沿って

大阪府保育士会長 大西 潤子



厚生労働大臣の告示として、新保育所保育指針が来年に施行されます。子育ては楽しいものだということを地域の親子にも広め支援することや、子どもと子育てに優しい社会になるよう発信していくことが求められます。今年一年はその周知説明と研修会が全国で開催されます。昨年は、全国保育士会

の通らないことについては、遠慮なくモノ申して行く姿勢で、8名の副会長をはじめ、幹事・常任委員の皆様方を中心に力を合わせて「大阪の保育は素晴らしい！」との評価が戴けるよう推し進めて行きたう考えております。

本年も宜しくご協力をお願い申し上げます。

で「保育士研修体系」ができあがりました。

子どもの望ましい発達と豊かな活動が、楽しく健やかな「明日」につながるよう、保育士一人一人が得意な分野をさらに磨き、新たに求められる専門性を真摯に受け止めて、保育のスキルアップに努めましょう。

保育士会では保育技術や内容はもちろん、新保育所保育指針に沿った研修プログラムを用意し、研修の場を提供できるように活動を行っていきます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

子どもの健やかな育ちを支援

大阪府児童家庭室

室長 中野 昇

昨年は親子や親族間での痛ましい事件が続きました。本来最も安心し、支えあえる関係である「家族」のあり方が揺らいでいます。一方、出生率は改善されたものの、依然として少子化の傾向は続いています。

そうした中で、国においては働き方の改革によるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現、「親の就労と子どもの育成の両立」「家庭における子育て」を包括的に支援する枠組み等、子どもと家族を応援する施策を重点的に推し進めることとされています。

大阪府といたしまして、こうした国の動向を踏まえながら、安心して喜びをもつて子どもを産み育てることができる環境づくりに取り組むとともに、子どもの健やかな育ちを支援してまいります。

今後とも皆様方の一層のご理解、ご協力を賜りますとともに、本年が皆様にとりまして実り多き年となりますことを心から祈念いたします。

保育指針の告示化へ 向けよりよい保育を実現

大阪府子育て支援課

課長 小原 理恵

昨年4月に子育て支援課長に就任し、保育所にお世話になっている一保護者として、身近に感じてきたことを改めて見直しながら保育施策の充実に取り組んでまいりました。

今年「保育所保育指針」の見直し具体化され、「地域の子育て支援の拠点としての機能強化」

地域貢献事業の準備については新年度に向け、引き続き準備を進めていきたいと思ひます。

皆様に今回答頂きました育児相談員に感謝するアンケートは現在集計中です。ご協力ありがとうございました。今後は、育児相談員の現状分析より、地域相談員(仮称)の人材養成を行ってまいります。

養成プログラムの内容は大きく3つの柱で構成され「地域貢献事業と地域福祉理解に関する講義」、「社会的支援を必要とするのはどんな場合や人か

● 地域貢献事業準備委員会 ●

人材養成プログラムに3つの柱

や「保護者に対する支援」「職員の資質向上」など、既に取組んでいたという保育所の役割がより明確に示されることとなります。

大阪府としては、今後の保育所保育指針の告示化に向けた国の動きを注視し、見据えながら、皆様方とともに、大阪の子どもたちや保護者にとってよりよい保育が実現されますよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

といった具体的理解をイメージする講義、「制度、サービス、社会資源を知る講義」の予定です。

育児相談員の方々はカウンセリングの技術に關してはすでに習得されていますので、情報量を増やしていただく研修になるような企画にいたします。

また、同時に準備委員会が各ブロックの園長会などに出席させていただき、事業内容についての周知活動も展開予定です。ご協力をお願いいたします。

(編集委員 N・S)

地域貢献事業 準備段階から拡大へ

北摂ブロック保育部会 熊井茂治

社会福祉基礎改革以降、福祉サービスの多元化が進み、社会福祉法人の存在意義が問われています。地域貢献事業準備委員会が発足し、保育園における「地域貢献生活サポート事業」の実施準備に入りました。この事業は大阪府認定の育児相談員の皆様に、子育て以外の関係機関など幅広い社会資

源を把握してもらい、高齢者や障害者などの悩みや問題を抱えた方の相談や適切な機関・団体への「つなぎ」をするものです。子年の子の字は「ふえる」意味で、種子の中に新しい生命が芽生える様子を表しているそうです。この事業を拡大し、保育園の存在を大いに示したいものです。

一致団結し地域密着の保育目指す

河内ブロック会 橋詰幸雄

昨年の参議院選挙において民主党が第一党となり、衆・参ねじれ国会が発足しました。国会激震の渦中、保育制度においても変化の波はとどまることなく押し寄せてきます。そのような状況において、今年は保育所保育指針の改定が行われます。大臣告示されるとい

とにより、保育園運営がますます難しく厳しいものになることが予想されます。この激変期に立ち向かうべく、より一層河内ブロックは一致団結し、地域に密着した保育を目指して今年も頑張っていきたいと思えます。今年もよろしくお願ひします。

引き続き待機児童の解消に協力

堺市民間保育園連盟 池尾弘久

昨年は、堺市の待機児童解消に向けて堺市と民間保育園連盟が協力し、短期一時預かり制度を作りました。その甲斐もあって、ベストテン上位から下位になりました。今年も昨年同様、待機児童解消に向けて堺市に協力してまいりたいと考えております。市会議員との交流会も

昨年は、過半数以上の議員に集まっていた盛大に開催できました。国の制度が変わったとしても、保育を必要としている子どもたちは無くなりません。私たちの仕事は世の中に必要とされています。今年度も保育の充実にまい進して参ります。



迎春 ブロックからの年賀状



求められる保育所の社会的意義

北大阪ブロック会 亀井信昭

近年、保育所を取り巻く環境は大きく変化し、保育所を利用する子どもの保育のみでなく、地域社会の子育てにおいても専門性を発揮して子育ての環境づくりを進めて行くことが求められています。この度の保育所保育指針改定により、改めて保育園の社会的な位置づけが明確化され、それらに拍車がかかるのではないかと感じられます。保育

変化の時代に府・市町村との一層の連携推進

南大阪ブロック民間保育園連盟 宮武 勲

ここ数年、保育を取り巻く現状は様々な情報が飛び交い、どのような方向に進むのか予測し難いものがあります。そんな中、日常の保育の質、職員の資質の向上、保育園の地域貢献に加え、1年後に改定が予定されている保育指針など課題が重くのしかかっています。一方、保育行政の主体が国から地方へと徐々に変わっていくなかで、当

ブロック(7市1町1村)は周辺の政令 中核都市化により、保育部会を柱として府および市町村との連携を一層深めていかなくてはならないと思ひます。本年は部会の地域貢献事業が促進される年として、またそれぞれの園にあっては指針の改訂に備えて、更なる保育内容の充実を図る年になりそうです。

「本物」の保育園へブロック活動を強化

泉州民間保育協議会 田中正清

平成19年はいろいろな意味で激動の年であったように感じています。保育制度では激震まで行きましたが、余震はまだ続いています。泉州ブロックでは、公立保育所の民営化に伴い、この2・3年で10数ヶ園増えました。喜ばしい反面、民間同士の競争も始まり、地域格差もあつて今後民間園格差が問題となってくるような気がし

ます。公立保育所や幼稚園に負けない保育園作りを進めて行かなければならないと痛切に感じております。昨年の世相を表わす漢字が「偽」に決まりましたが、利用者に喜ばれる「偽者」でない「本物」の保育園となるようブロック活動を進めて行こうと思っています。

あ
こ の 人
人